

名都借の木



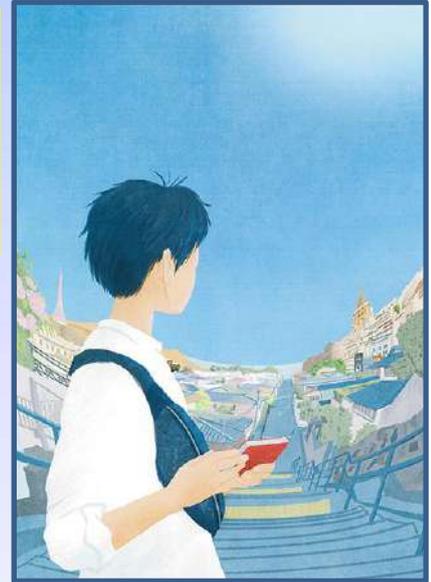
2021年10月8日発行
発行者：流山市立木の図書館
(指定管理者：株式会社すばる)
住所：流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000



2021年度読書週間 10/27-11/9 「最後の頁を閉じた 違う私があった」

今年の読書週間の標語は
「最後の頁を閉じた 違う私があった」

です。作者の緑川良子さんによれば、
「しばらく宙に浮いたような感覚のあと我に返っても、読む前とは確実になにかが変わっています。そんな出会いをいつも楽しみにしています。」
とのことです。



しらいたまもさんによる
読書週間ポスター

好きな食べ物ものは 何ですか？

小説のなかに出てくる食べ物を思い浮かべて、食べたくなかったことはありませんか？

おいしそうな食べ物が出てくる小説といえば、古くは池波正太郎の小説が定番でした。しかし最近では、時代小説では小料理屋など、現代小説では食堂などが舞台のものが多く書かれていて、食べることが好きだったり、料理をすることが好きだったり、食べ物に関わる人々のまわりで起こる人情の機微が描かれています。

読み終わった後に、日頃気にとめていない食べ物について、あらためて思いをはせるのもよいでしょう。



食べ物にまつわる時代小説など
(請求記号 913.6)

異世界でおいしい!?

特に、最近ひとつのジャンルになった「異世界」ものでは、「こちらの世界」で普段食べ慣れているお惣菜、丼物、酒の肴と異世界の人々との出会いを追体験することで、私たちもまた忘れていたおいしさをふたたび味わうことができます。

まだまだおいしい

もちろん、食べるのが大好きな人々を書くエッセイも忘れてはいけません。好きなものを語る人々の言葉を読むのも、また楽しいものです。

また、普段私たちが見慣れている食べ物について、深く知りたいという知的好奇心を満たしてくれる本があります。その食べ物が現在に至るまでの歴史だったり、それぞれの土地に独特な食べ物だったり、時間と空間に広がる未知の世界へ誘ってくれます。



食べるのが大好きな作家たちによるエッセイ(請求記号 568)



食べ物への好奇心が詰まった本
(請求記号 383.8)



You & Me

相棒小説



正しい愛と理想の息子

寺地 はるな / 著
『正しい愛と理想の息子』
(光文社)

～「ひとり、じゃないよ」～

ひと恋しくなる季節に、二人組が主人公の小説をご紹介します。

大金が必要な二人は、コンビになって、女性や、さびしそうな老人を、だまそうと近づきますが…。

生い立ちの異なる32歳の“ハセ”と30歳の“沖”。うまいかなくても、お互いがお互いを必要としあっています。そんな二人にかかわる人たちの“愛”の形にも、いろいろあって…。最後まで読むと、不思議なタイトルの言葉が胸に響く、家族の物語です。



この本もおすすめてです!



原 宏一郎 / 著
『星をつける女』
KADOKAWA



支倉 凜砂 / 著
『それをAIと呼ぶのは無理がある』
(中央公論新社)

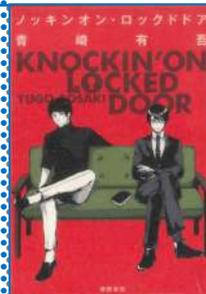


他にこんな本もあります!



特撮の怪獣の中に入って、演技をする「スーツアクター」。かけだして文無しのでこぼこコンビが、仕事と、ふりかかる災難を解決していきます。

大倉 崇裕 / 著
『スーツアクター探偵の事件簿』
(河出書房新社)



「コンビ」というより、「ダブル」の探偵。“不可解”担当と“不可能”担当の二人。それぞれ「どうして?」と「どうやって?」の謎を鮮やかに解き明かします。

青崎 有吾 / 著
『ノックンオン・ロックドドア』
(徳間書店)

木の図書館イベント情報

● 「大人のためのおはなし会」に参加されたことは、ありますか?

誰かに、本を読んでもらうことは、子どもだけでなく、大人の心にも良いようです。

木の図書館では、毎年、「大人のためのおはなし会」を開催しています。

今年も、「秋」をテーマに、11月25日(木)に開催いたします。

絵本を中心に、1時間ほど、大人の方への読み聞かせをさせていただきます。

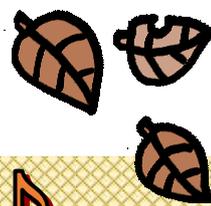
大人向けのおはなし会は参加されたことがないという方も、また、普段は、

誰かのためにおはなしをされている方も、どうぞ、お気軽にご参加ください。

● お申し込みは、木の図書館カウンターか、お電話でお願いいたします。



子どもの木



紙芝居を楽しもう♪ ～食べものの編～

今回は食べものがでてくる紙芝居についてご紹介していきます。
読むほうも見る方も、自然と登場人物と同じ表情になっているかも？
紙芝居を読む時は、全力で演じて楽しんでくださいね。



すっぱい顔に
なるかも？

『うめぼしさん』（童心社）
神沢 利子／脚本 ましま せつこ／絵



あなたの
おいしいは
何かな？

『おいしい おいしい!』（童心社）
ひろかわ さえこ／脚本・絵



絵本もいいけど
紙芝居でも
読んでみませんか？

『おさじさん』（童心社）
松谷 みよ子／作 瀬名 恵子／絵



おいしいもの
いっぱい!

『おいしいもの なあに?』（童心社）
土田 善晴／脚本・画



おべんとうのふた、
パカッとあける時の
ワクワク感が
たまりません!

『おべんとうわくわく せーの パカッ!』（童心社）
磯 みゆき／脚本 林 なつこ／絵



解説をよむと
新たな発見が
あるかも？

『フォトかみしばいかぐのアルバム ジャガイモ』（あかね書房）
清水 清／監修 七尾 純／構成・文
青山 のぼる・久保 秀一・鈴木 公治／写真
森上 義孝／イラスト

イベント情報

くわしくは、館内ポスターや広報、ホームページをご覧ください。



10月 トリックオアトリート・シールラリー

12月 クリスマスおはなし会スペシャル





これからの木の図書館

連絡先
木の図書館
電話:04-7145-8000

郷土へのいざない vol. 29 ~まるで映画の世界...ガス灯のある風景

流山市には、今もガス灯はあること知っていますか？ 中に本当の火が燃えているそうです。このガス灯は、流山の「都市ガス」を記念して市内6カ所に立てられたものです

明るさとしては100ワット。マントルという繊維に発光物質をしみこませた袋をかぶせて明るくしているそうです。

明治時代のガス灯は点火する人がひとつひとつ着火して回っていたのですが、こちらはタイマーで点灯しています。



千葉興業銀行前にあるガス灯



流山市役所にあるガス灯

※京和ガス社屋前のガス灯は24時間ついてます。つけたり消したりすると、マントルが劣化して割れてしまったりするからだそうです。

参考資料:「聞き書き「電化製品のある暮らし」」
(流山し教育委員会、流山市立博物館「聞き書きの会」)

流山 HP:

<https://www.city.nagareyama.chiba.jp/tourism/1013077/1013083.html>

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

斜線は休館日 青は17:00まで開館

青枠はイベント

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)
月末日(土・日・祝日を除く)
年末年始(12/29~1/4)

開館時間 火曜日~土曜日 :9時30分~19時
日曜日、祝日 :9時30分~17時